

山登りはいつも出だしが大変で嫌になってしまう。けど、諦めずに1歩ずつ歩み続けると景色を楽しむ余裕が出てくる。山頂に着いて「また来れてよかった」と思い、下山して町から頂上が見えた時「私ってすごい!」という達成感に励まされ、そしてまた山に行く。仕事もこんな感じかなと。一步一步着々と歩んでいけば大丈夫p(^_^)q
担任 遠山 由希

国家試験に挑んで 大井田 圭司

1年間の学びの集大成として、国家試験を受験しました。授業や実習などが重なり、本気で勉強に取り組めたのは、たった1ヶ月という短い期間でした。そのため、私たちは、焦る気持ちばかりで、合格できるか不安でした。また、どんなに努力をしても模試の結果が振るわない苦しい期間もありました。そんな時に周りを見渡すと、仲間の頑張っている姿が何度も目に留まりました。お互いに励まし合い、無事に国家試験を乗り越えることができました。感謝で一杯です。これからも仲間と一緒に努力した日々を忘れず頑張ります。



事例研究発表会をとおして

福祉大学校を支援する会「白樺賞」受賞

宮坂 ことみ



事例研究を通して、担当利用者の方のより良い支援について何度も考えてきました。その人の気持ちや生きてきた証を知ろうとすることこそ、愛をもって関わることだと思います。

私ひとりの力だけで完成することは出来ませんでした。協力してくださったすべての皆さんの支えがあったからこそ、この賞を受賞することが出来たと思います。ありがとうございました。愛と尊敬の気持ちを忘れずに一日一日を大切に過ごしていきます。

祝 介護福祉士養成施設協会会長表彰 宮越 夏鈴

福祉大学校の学びである「福祉」には正解がないため、試行錯誤の日々でした。何が利用者にとって良い支援なのか、答えは1つではありません。だからこそ、11人の仲間や先生方と話し合い、みんなの意見を吸収しながら支援を考える。それは苦しくもありましたが、とても楽しく、学びが深まっていくことが私の意欲の源でした。答えのない問い=成長し続けることができる、そのことを実感した1年間でした。



今まで学びを与えてくださった全ての皆様に感謝し、これからは福祉の現場で輝き、恩返しをしていけるように頑張ります。ありがとうございました。

祝 卒業記念品贈呈代表者 西川 陽菜



夢と希望をもって入学した福祉大での3年間はあっという間で、特に介護福祉学科の1年間は一瞬で過ぎた感じです。

福祉の世界へ踏み入り、考え・学んだ日々はかけがえのないものになりました。親身になってくださった先生方、ともに夢に向かう友達、元気なパワーをくれる子どもたちと出会えたことに感謝します。ありがとうございました。



保育学科43名、介護福祉学科12名 計55名が、「しあわせの創造」と「夢の実現」に向け旅立ちました。木遣がこだまする特別な年、多くの皆様と触れ合い、人と人との絆を強く感じる1年となりました。支えていただいた皆様に心より感謝申し上げます。

令和4年度 卒業生進路 (令和5年3月6日現在)		
	保育学科	介護福祉学科
公立保育所	13名	4名
私立保育所	4名	2名
幼稚園・認定こども園	4名	
公立社会福祉施設 等		1名
私立社会福祉施設 等	9名	5名
進学(本校介護福祉学科)	8名	
進学・編入(他校)	2名	
その他	3名	
卒業者数	43名	12名

祝 全国保育士養成協議会会長表彰 受賞



北澤 美桜

入学してすぐに芸大のリポートに苦手なピアノに追われる怒涛の日々を過ごしてきました。その中でも2年間を楽しく過ごすことができたのは隣で支えてくれた仲間の存在があったからと感じています。仲間がいたから頑張れたことがたくさんあり、私にとってかけがえのない宝物になっています。

今回、会長表彰をいただけることになりとてもうれしいです。授業では教科書以外にも多くのことを教えていただいたこと、実習では多くの苦勞がありましたが、子どもたちの笑顔に癒され子どもと関わっていくことの楽しさややりがいをとっても感じました。これから、私は夢であった保育士として働きます。福祉大で学んだこと、それからみんなとの日々を糧に頑張っていきたいと思います。



学生生活を振り返って



本当にたくさんお世話になりました。3年間でとても成長したと思っています。みんなに出会えてよかった!この先のみんなもずっと応援しています。そして、ここまで育ててくれたお母さん、お父さん、ありがとうございました大好き〜♡

井出 京華



この1年を振り返ると実習やテスト、国試の勉強などで忙しい毎日でしたが、クラスみんなや先生方と充実した日々を過ごすことができました。これからは保育・介護それぞれの道でがんばりましょう!ありがとうございました(*^▽^*)

落合 麻緒



介護福祉学科に入学し、介護のイメージが変わりました。その人らしく生きるための支援を考えることが大切だと学びました。今まで学んできたことを自分の力にし、今後にかかしていきたいです。がんばるぞー!

久保田 晶子



福祉大学校では、保育学科で2年、介護福祉学科で1年ととても密度の濃い時間を過ごしました。人との関わりや出会いを大切に、今後就職してから3年間で学んだことを糧としていきたいです。

小林 優佑



この学校での3年間はかけがえのない時間となりました。いい仲間、先生・指導者の方々、家族、いろんな人のおかげです。本当にありがとうございました。みんな無理しないでやっていってね〜(^-^)/

五味 智哉



忙しい毎日に頭を抱えた日もありましたが、今思えば良い経験で、色々なことを学べて楽しかったです!これからたくさん悩み、経験することがあると思いますが、それでも皆さんの1日1日が笑顔いっぱいになりますように。応援しています!

中澤 麻衣



保育学科、介護福祉学科の3年間でたくさんのことを学びました。長野県福祉大学校の優しい先生方、お互い支え合った仲間たちにとっても感謝しています。本当に楽しい日々をありがとう☆

降旗 蓮



福祉大での3年間、特に介護の1年が実習とか辛かったけど、プライベートも含めて充実した。きっと、みんな個性を上手く活かしていけるよ。♪楽しくなきゃ人生じゃない、チャンスはやがて訪れる♪

湯本 碧士



2年ぶりに開催された卒業記念音楽会



保育学科1年生



1年生の歌「虹」



おどるポンポコリン



実習の思い出 菊地 正輝



入学前は不安ばかりで学校に馴染んでいけるだろうか、と不安の日々でしたが、今は友だちも多く、毎日楽しく学校生活を送っています。

保育について色々なことを学ぶことができ、充実した1年間を過ごすことができました。

初めての实習では、学校で学んだことを実践で生かすことができ、「観察実習」という立場ではありましたが、現場の先生方や施設の職員の方から、沢山の実践的な内容を学ばせていただき、将来に向けて夢が膨らみました。

2年生になると、いよいよ就職試験等大変なこともあります。福祉大の仲間と協力し合い、乗り切っていきたいと思っています。



保育学科1年生の日々もあっという間に過ぎました。実習やレポート、そしてひまわり祭や卒音など、盛り沢山の毎日を仲間と協力し合い、笑顔で乗り切ってきた皆さんです。いよいよ2年生。それぞれの未来に向かって毎日を大切に頑張っていきましょう!!

担任 松澤 和美

1年間を振り返って 堀川 智音



福祉大に入学して1年が経ちます。振り返ってみれば沢山のことがありました。

4月、不安でいっぱいだった新入生の私達を、先輩方や先生方が笑顔で迎えてくださいました。おかげで新しい学校生活を楽しくスタートさせることができました。

ひまわり祭では学生全員が一致団結して素晴らしい思い出をつくり、地域や保護者の方々にも来校していただくことができました。

福祉大生の協力の素晴らしさは、2月の卒業記念音楽会でも発揮され、心に残る歌声とステージを創り上げることができました。

2年生に進級したら、さらに保育士にむけての実践的な学びを積み上げていきたいと思っています。そして、新入生や新2年の仲間たち、介護の先輩方と協力してさらに充実した学校生活を送りたいと思っています。



「健康」の授業 おこわ炊き

いびき寮

卒業記念音楽祭を間近に控えた2月22日、いびき寮食堂で、寮総会と卒業生を送る会が行われました。コロナ禍で寮全体で集まるのがほとんどできなかった1年間でしたが、年度の終わりにたくさんの寮生が集い、絆を確かめ合うことができました。

寮の仕事を先輩方に手取り足取り教えてもらってきた1年生が、今回は自分たちの力でこの会を開催しました。お世話になった卒業生に、感謝の言葉とともに、心を込めて選んだハンカチなどをプレゼント!卒業生からは、在校生へ感謝の言葉とエールが贈られました。

在校生の皆さん、チームワークの良さを先輩から引き継いで楽しい寮を作ってください!最後に、みんな最高の笑顔でパシャッ!



R4 いびき寮生

保育学科2年生



創作ミュージカル「まほうのうたとポキラベキラ」



♪♪ 春風に 想い届けて いざ行こう!! ♪♪

短くも、それぞれが苦悩や歓喜を共にした2年間だったのではないのでしょうか。これから自分なりの正解を探しに旅立ちます。でもみなさんなら大丈夫!!「おおらかに」「一所懸命」そして「仁義」を大切に頑張ってください。

担任 春日 聡

祝 福祉大学校を支援する会 「白樺賞」受賞

宮沢 芽依



今回、私は「子どもが歌いたくなる保育者の姿」というテーマで研究を行いました。この2年間で音楽の楽しさや豊かさを深く実感することができました。楽しいときも、落ち込んだときもいつもそばにいてくれる音楽。そんな音楽の大切さを分かち合えるような活動を、これから出ていく子どもたちと行っていきます。くちびるに歌を~!!

卒業式 答辞 石田 紗規



2年間を振り返ると大変なことも多く、何度もうけそうになりました。しかし、何も言わずに手を差し伸べてくれた仲間や温かい言葉をかけてくれた仲間の存在が、私の学生生活の支えでした。大変なときに踏ん張ることができたことは、必ず今後の糧になると思います。この学校での学びを胸に、仲間との思い出を支えに、たくさんの子どもの笑顔に出会えるように努めていきます。



この2年を振り返って

副ルーム長 筒井 優

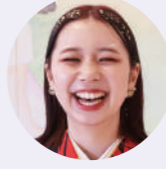


この2年間は本当にあっという間でした。実習の延期、行事の中止・縮小など苦勞の連続でした。しかし、そんな逆境にも仲間たちや先生方と乗り越えてきたことで、今まで気づかなかった、新たな発見や成長を自分たちも知りました。

4月からそれぞれの道を歩んでいきますが、これからも成長していきたいと思っています。みんな、本当にありがとう!!



夢の実現へ 酒井 琴寧



私は小さいころから、保育士を目指していました。そのため、中学、高校と地元の保育園に職場体験など積極的に参加してきました。そのおかげで、先生方と親しくなり、実習や就職活動の時にとっても頑張ることができました。また友人との試験勉強や、先生方に面接練習をお願いして、夢だった地元の保育園の職員になることができました。4月からは保育士として頑張っていきます。

卒業記念音楽会 歌声委員長 今村 天香



今年の卒業音楽会は2年ぶりの開催でした。音楽会をやることになったものの、コロナの感染対策や実習などがあり、歌もミュージカルも思うように練習ができないことが多くありました。その中でも一人ひとりがすべきことを考え、動き音楽会をやりきるすることができました。みんなとたくさん笑って、泣いて頑張ってきたことすべてが大切な思い出です。最後まで全力疾走で頑張ってきたみんな、来場してくださった方々に感謝します。